



横浜市立富岡小学校

学校だより 6月号



いよいよ始まります！

校長 浅野 修一

「6月1日 月曜日に、富岡小の子ども達に会えることを、心から願っています。」

学校だより5月号巻頭言の最後に書かせていただいた願いが叶う日がやってきました。本日6月1日と明日2日の分散登校ではありますが、子ども達の登校が再開されます。およそ3カ月間の休業期間は、子ども達も我々大人も経験したことの無い初めての状況でした。この間の子ども達のがんばりを称えるとともに、それを見守り、支えていただいた保護者の皆様にも心からお礼申し上げます。これから学校では子ども達の健康と安全を第一に考え、段階を踏みながら確実に、学習や学校行事等を進めてまいります。お子様のことでご心配なことがございましたら、遠慮なくご相談ください。

もう一つ大事にしていきたいことがあります。それは子ども達の「心」のケアです。子どもは友達と関わるのが大好きです。学校ではたくさんの友達と関わるができます。これまで当たり前だったことが、しばらくの間できなかつたり制限されていたりしました。このことは子ども達にとって大変なストレスになっていたと想像できます。分散登校の2週間では、学校生活のリズムを取り戻していくとともに、子ども達の気持ちをほぐしながらお互いのコミュニケーションを大切に、「新しいクラス」という集団づくりを進めてまいります。もちろん、いわゆる「3密」には十分注意しながら取り組みます。その中で、まずは子ども一人ひとりの様子を丁寧につかみながら、ゆったりとした雰囲気の中で学級づくりを進めていくことを、担任をはじめとした学校全体で共有しています。子ども達にとっても担任にとっても、6月1日、2日が実質的な今年度初日になります。みんなでよいスタートが切れるよう願っています。

新型コロナウイルス感染者等に対する偏見や差別の問題が報道されています。富岡小学校ではこれまでも人権尊重の観点から、偏見や差別、いじめの防止に向けて継続的に指導をしてまいりました。特に今回の新型コロナウイルス感染症に関わる問題では、これまで経験したことの無い状況の中での恐怖や不安が偏見や差別を助長しているとも考えられます。本校では、今後も偏見や差別、いじめなど、子どもの心を傷つけるいかなる行為も許さないという姿勢で指導にあたっております。すべての人々が「お互いを責めるのではなく、お互い支え合っていく」ことを思いながら過ごしていけるといいですね。

この先新型コロナウイルスの感染状況がどうなるかという不透明な部分もありますが、これからも子ども達のために最善を尽くせるよう、全職員が力を合わせて準備を進めてまいります。今後とも皆様のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。